

# みつぎ便り

見次の会

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと  
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに  
所属しているボランティア団体です

106号  
7月号

平成27年7月1日

<http://itbs-ecopo.jp/projects/environsurvey/2013/000253.htm>



ユリ（百合）

先月の十日、ボランティア仲間の手で初夏にふさわしい色鮮やかな草花を花壇に植えました。その時、前野中央道り寄りのコンクリート壁際に横一列に赤紫、黄、白色の大輪の花が清楚に咲いているのを目にしました。その花の名前はユリです。世界中に広く分布し、日本には十二種の野生種があり、それらの中で最も親しまれているヤマユリは、日本にしか分布していない日本特産種の一つとされています。

一般に栽培されているのは、複雑に交配して作られた園芸品種です。その代表格のカサブラナカは、最も大きい白い花を咲



オオヤマトンボ（大山蜻蛉）

関東地方も梅雨の最中です。この季節になると公園の水面には相変わらず、シオカラトンボ、コシアキトンボなどいろいろなトンボが飛び交っています。その中で池の岸寄りに、時折巡回しているかのように回ってくる、やや大型のトンボがオオヤマト

かせ、芳香が漂うので「ユリの女王」といわれています。この名前を耳にすると、約七十年前の同じ映画名の最後の場面で、「君の瞳に乾杯」という名セリフが思い出されます。

この記事をお読みになるころは、ユリの花も姿を消していることでしょう。来年またの再会を楽しみにお待ちください。（兼）



ンボです。一見すると黒地に黄色縞なのでオニヤンマのように見えますが、オニヤンマよりやや小振りです。

大きさは八〜九センチで、目は緑色、胸のあたりにも緑色の模様があり、胴から腹にかけてはオニヤンマのような黄色模様の縞模様があります。

生息域は広く北海道から南西諸島まで分布しています。主に止水域の大きな池や沼に幼虫が生息して、夜から早朝にかけて池の周囲の柵などで、ヤゴから成虫に変態しているようです。

公園では、春から秋にかけて色々な種類のトンボが生息しているのので、夏の朝、ぜひ早起きをしてヤゴからトンボに完全変態する姿をゆっくりと観察してみたいかがでしょうか。（圭）